

平成27年度石狩市奨学審議委員会議事録

日 時：平成27年7月15日（水）

9時30分～10時30分

場 所：石狩市役所本庁舎 2階
201会議室

出席委員 市内中学校長4名：岡本委員、福山委員、大西委員、武岡委員
民生委員 3名：東委員、中川委員、片岡委員
学識経験者 6名：河本委員、久保田委員、池田委員、後藤委員、
原田委員、吉田委員 計13名

欠席委員 市内中学校長2名：水野委員、川村委員 計 2名

事務局 百井生涯学習部長、安崎学校教育課長、山下学校教育担当主査、田原主任

傍 聴 個人情報を取り扱うことから非公開

会議次第

1. 教育長挨拶

2. 委員長及び副委員長選任

委員の互選により、大西二生委員長、武岡則夫副委員長を選出した。

3. 諮問

平成27年度奨学生の選考について

4. 審議

審議に先立ち、事務局において資料等の説明を行い、資料は審議終了後に回収した。

志願者 77名（高等学校 52名、高等専門学校 3名、大学 22名）

【応募状況：事務局説明】

- 今年度の志願者数は、高等学校52名、高等専門学校3名、大学22名の77名となっており、昨年度の志願者数119名（高等学校88名、高等専門学校3名、大学28名）である。
- 今年度の志願者のうち、前年度に奨学生として選定されていたものは、高等学校23名、高等専門学校3名、大学15名である。

【本年度選定基本方針】

- ・ 前年度に奨学金を受けていた者でも、成績やその他の応募者の状況で選考しない場合も十分あり得ると考えます。
- ・ きょうだいで応募していて、そのいずれも選考基準を満たしている場合は、より多くの家庭に奨学金の受給の機会を与えるために、きょうだいのうち、いずれか1人を選考するという考えもありますが、今年度は、他の志願者と同様に選考した方がよいと考えます。
- ・ 高等学校（高等専門学校1－3年を含む）、大学の志願者のどちらに重きを置いて選考すべきかといえば、現状では中学卒業からの就職は非常に厳しく、ほとんど高等学校に進学していること、また、高等学校の場合大学に比べ奨学金制度の充実度が劣り、更に大学生に比べアルバイトで自ら学費等を賄うことができるかという点からも、やはり高等学校ではないかと考えます。

5. 答申

高等学校43名、高等専門学校3名、大学14名の計60名を平成27年度奨学生として選考する。

平成27年7月23日 議事録確定

石狩市奨学審議委員会 委員長 大西 二生